

平成22年度 相模台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	自治会加入促進のためのチラシ作成事業 【 No. 1 】
申請団体	自治会法人 相模野自治会
事業目的等	<p>平成22年3月末現在、当自治会は、総世帯数約1,500世帯に対し加入は、1,088世帯となっている現状である。</p> <p>このことから、未加入(マンション、ワンルーム含め)世帯を出来るだけ減らし、全体で加入率を90%以上、1,300世帯加入を目標に自治会員加入促進のため、チラシを作成し配布する。</p>
交付決定日	平成22年 7月 12日
交付決定金額	82,000 円 (全体事業費 82,950 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績 自治会の会員の加入率をアップのため、魅力あるチラシを作成し、自治会役員、班長等で配布し、自治会員加入向上に努めた。</p> <p style="padding-left: 20px;">チラシ作成(8月) 2,000枚</p> <p>◇自己評価 約半年間で、30件の加入効果があった。突出した件数ではないが、短期間で、これまでにない加入者があった。このことから、今後につながる結果だと考えている。</p> <p>一戸建の世帯へも、配布を行ったが、大型マンション未加入世帯が、150世帯近くあり、加入率アップには、数字的に大きいことから、集合住宅(特に大規模マンション)の加入に力を入れ、継続して加入に努めていきたい。</p>
市 評 価	<p>相模台地区で第1号の交付金を申請した団体であるだけに、自治会の自主運営意識が強い。</p> <p>自治会の課題である、会員加入率の増加に正面から取り組む姿勢が伺える。</p> <p>配布についても、役員が分担し配布、さらに、極力、説明、勧誘する取り組みであり、自治会内の体制が整っている。</p> <p>今後の自治会の将来へ向けて、担い手育成の視点を持ち、自主的に発案し事業に取り組んだことは、高く評価できる。</p>
備 考	

申請事業名	地域の文化、伝統の振興に関する事業	【 No. 2 】
申請団体	自治会法人 相模野自治会	
事業目的等	自治会員の親睦と交流及びコミュニケーション作りの強化。また、地域内の自治会員以外の方の参加もポスターによりPRし、自治会の加入促進につなげる。	
交付決定日	平成22年 7月12日	
交付決定金額	110,000 円	(全体事業費 1,674,980 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>ふるさと祭りを PR することにより、地域の活性化と自治会員の増加につながると考え、ポスターを作成した。</p> <p>21年度に比較し、2～3割の参加者が増加したと思われ、自治会員、自治会未加入者の住民に対しても、自治会活動を PR できたと思われる。</p> <p>◇自己評価</p> <p>自治会最大のイベントである、ふるさと祭りをポスターにより PR できたため、例年以上に多くの人が集まり、地域の活性化とふれあいの場がより充実した。</p> <p>今後も、子どもから高齢者まで、自治会全体の活性化のため5年～10年将来に向けて、ふるさと祭りを充実し地域のシンボルとして確立していきたい。</p>	
市評価	<p>相模台地区で第1号の交付金申請団体であるだけに、自主運営意識が強い。</p> <p>自治会最大のイベントである、さがみのふるさと祭りを最大限に地域に PR しようとする姿勢からも、今後の自治会の将来へ向けて、担い手育成の視点も持ち、自主的に、発案し交付金申請したことは、高く評価できる。</p>	
備考		

申請事業名	相模台地区民生委員児童委員協議会 広報誌発行事業	【 No. 3 】
申請団体	相模台地区民生委員児童委員協議会	
事業目的等	<p>広報誌を作成し、民生委員児童委員の活動紹介をすることにより、民生委員活動の目的であるひとり暮らし高齢者の把握、生活困窮者支援、子育て支援などの福祉課題に対する活動をPRし、地域福祉づくりの一助とする。</p>	
交付決定日	平成22年 9月15日	
交付決定金額	290,000 円	(全体事業費 290,000 円)
団体実績報告	<p>◇ 事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の広報誌を作成し、福祉の援助を必要としている人へ情報提供を行った。 ・民生委員自ら、担当地域を回り直接ポストへ、全戸配布した。全戸配布により、自治会未加入者へも、民生委員活動をPRし、援助を必要としている人へ、民生委員を知ってもらう機会となった。(22,000部発行) <p>◇ 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全戸配布を実施したが、福祉の援助が必要と思われる方へは、直接、広報誌を持って訪問することにより、地域の福祉活動、民生委員の活動が分かりやすく伝わり、孤立しそうな人の減少に役立ったと思われる。 ・全戸配布により、担当区域の世帯実数が把握できたメリットもあった。 	
市評価	<p>これまで、民生委員の活動は自治会の回覧等を活用していたが、福祉の援助を必要としている方は、必ずしも自治会に加入しているわけではなく、逆に加入していない方のほうが多い可能性が高い。</p> <p>その観点から、交付金を活用し独自で民生委員活動をPRする広報誌を作成し、その広報誌を自治会未加入者にも配布するために、各民生委員が担当区域を巡回し、投函する実行力は高く評価できる。</p> <p>相模台地区内で、福祉の援助が受けられずに、孤立してしまう人の減少に役立つ事業と考えられ、広報誌配布後の効果に期待する。</p>	
備考		

申請事業名	消防団員募集啓発事業	【 No. 4 】
申請団体	相模原市相模原消防団第9分団	
事業目的等	<p>相模台地区全域に、3部構成になっており、全体で、消防団員定員39名となっているが、平成22年4月1日現在で、18名の団員が在籍し、定員が50%を下回っている状況である。</p> <p>大規模災害時には、消防署の体制だけでは、対応しきれず消防団が大きな力になると考えられるが、相模台地区の現状では、消火・救助活動に支障をきたす可能性がある。</p> <p>このことから、地域活性化事業交付金を活用し、相模台地区において団員募集を広くPRするために、啓発物品を作製する。</p>	
交付決定日	平成22年12月21日	
交付決定金額	348,000 円	(全体事業費 348,300 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>消防団員募集啓発のため、啓発物品を購入し、地域の催し等で配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポケットティッシュ 10,000 個 ・うちわ 2,000 本 ・消防車消しゴム 1,600 個 ・のぼり(付属品含む) 12 本 ・クリアーファイル 500 枚 <p>◇自己評価</p> <p>消防団員確保のためのポスター、チラシは市消防局で作製し啓発していたが、分団独自で啓発物品を作製するのは、はじめての試みで「相模台」を前面に出したオリジナルな啓発物品を作製できたことは、消防団員確保、消防団活動のPRに大きく役立った。</p> <p>(平成23年4月1日時点で、4名の増員があった。)</p>	
市評価	<p>消防団員不足については、全市、全国の問題ともいえる。</p> <p>その問題に、行政ではなく一消防団自ら取り組む姿勢は高く評価できる。</p> <p>啓発物品の購入が交付金の使途であるが、啓発物品の配布を切り口に、自治会の催しに積極的に参加することは、これまで以上に自治会との連携が強化される効果も考えられる。</p> <p>これらは、地域での消防団活動のPRにもなることから、より地域に根ざした消防団となっていくことを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	相模台地区社会福祉協議会 児童・障害者部会子育てマップ事業	【 No. 5 】
申請団体	相模台地区社会福祉協議会	
事業目的等	日頃、子育てをする中で困ったり悩んだりした時の行政窓口の紹介、地域内の子育てに関する情報など、児童0歳～15歳を対象とした子育て福祉マップを発行し、対象世帯に配布する。	
交付決定日	平成22年 12月21日	
交付決定金額	550,000 円	(全体事業費 550,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>児童(0歳から15歳)が関連する施設を中心に配架を依頼した。22年度、23年度で約6000部を配布。(14,000部発行) 多くの保護者へ配布するため、2年計画で配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園(無認可含む、12箇所) ・幼稚園(3箇所) ・小中学校(11箇所) ・相模台こどもセンター、(こどもセンターで開設の親子サロンにも) ・病院、医院等医療機関(21箇所) ・公民館 ・地区担当保健師 <p>※地区外施設にも一部、近隣の施設へ配架。</p> <p>◇自己評価</p> <p>日頃子育てをする中で困ったり悩んだりした時の行政窓口の紹介、地域内の子育てに関する情報など、児童(0歳～15歳)を対象とした情報をコンパクトな形で提供できた。</p> <p>作成にあたって、地区社協の児童・障害者部会員が何度も打ち合わせを行い、校正を重ね作成したことから、地域の力により作成できたと感じている。</p> <p>このマップにより、身近な地区の情報を子育て世代が得にくい現状が解消され、暮らしやすいまちづくりの一助となることをのぞむ。</p>	
市評価	<p>少子高齢化の中、子育て世代の方へ地域の子育て情報を網羅し掲載したことは、子育て世代の方にとって、貴重なマップとなると考えられる。</p> <p>また、子育て中の方へ住みやすいまちづくりのPRの視点を持って取り組んだことや、地区社協会員である、地域の各協力団体の役員が担当し、何度も打ち合わせを行って作成した経過も、地域活性化の趣旨に合致した事業であると考えられる。</p>	
備考		

申請事業名	ふれあいいいききサロン、ふれあい子育てサロン PR 事業	【 No. 6 】
申請団体	相模台地区社会福祉協議会	
事業目的等	<p>高齢者を対象としたサロンは、気軽におしゃべりなど交流の場として各地区内で 15 か所開催している。また、子育て中の方が孤立しないよう、気軽に集える場所として、子育てサロンは地区内1か所あり、いずれも民生・児童委員、ボランティアなどによって運営されている。</p> <p>これらサロンの参加者が多くなるために、サロンをPRし地域福祉活動の充実を図る。のぼり旗を購入し、サロン開催中であることをPRすることで、サロン活動の活性をはかる。</p>	
交付決定日	平成23年3月 8日	
交付決定金額	166,000 円	(全体事業費 166,320 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンは、家にこもりがちな高齢者を対象に、月に 1 回、自治会館等を利用し、交流の場として活動している。その開催の日に、各サロンの会場にのぼり旗を立て、活動をPRし、参加者の増加を図るために活用している。 ・子育てサロンは、乳幼児の親を対象に、子育てに悩み孤立しないための交流の場として開設している。のぼり旗も、いきいきサロンと同様に活用している。 <p>《PR 購入物品》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗 44 枚 ・のぼり用ポール 32 本 ・ポールアンカー 32 個 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンは、団地の集会所を利用しているため、のぼりの設置により、活動日が分かりやすくなったせいか、これまでの参加親子が約 10 組から 20 組増となった。 ・いきいきサロンについても、代表者からは、活動がPRできると好評であった。 	
市 評 価	<p>これまで、サロンのPRはチラシや地区社協の広報誌が中心であったが、今回は、交付金でのぼり旗を作成しサロン開催中に会場の外に置き、より近隣に住む人にPRするためのものと理解している。</p> <p>各サロンを、より地域の住民にPRし、いきいきサロン、子育てサロンの参加者増加を狙うという視点は、引きこもりがちな高齢者、子育て中の親の情報交換の場の充実として、地域福祉の充実にも期待でき、地域活性化の一助として評価できる。</p>	
備 考		